

(株)新生メディカル

岐阜市・高齢者介護

従業員数／男性2名 女性248名 計250名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①ICTの活用によるペーパーレス化、事務処理業務の短縮
- ②社内外の会議、実践発表会等をオンラインで実施
- ③システム環境を整備し、社内事業所であればどこでも業務可能

新生メディカルは、排泄など利用ニーズの高いサービスに絞ることで、従来1~2時間かかった滞在を20分未満にし、より多くの訪問を可能にする「短時間巡回訪問サービス」を導入。オムツ交換など一日に必要なサービスの回数増加を可能にし、利用者満足度アップにつながるとともに、困難だった訪問介護の労働生産性の向上を実現した。

2017年からは訪問介護の業務管理にICTを導入し、情報共有と業務効率化を推進。業務がり



介護福祉士として働く加藤さん。高齢であつても心身共に健康で、元気に働きチャレンジする姿勢が、人生の先輩として他の職員に良い影響を与えている。

アルタイムで把握できるため、ミスの回避にも繋がり、サービス提供責任者の精神的負担と手作業による事務量が軽減された。また、日々、実績確定ができるにより、3日間かかっていた事務作業が1日程度で完了。その結果、保険請求業務等での年末年始の出勤が1ヶ月減少し、さらには紙媒体が年間6000枚削減できた。現在では全職員の出勤表のICT化、勤怠システム、給与システムを連携させており、さらなる業務改善を目指している。

こうした業務改善は、育児しながらでも無理なく働き続けられる職場づくりにもつながり、出産・育児を理由とした離職ゼロや、パート職員が時給制だけでなく固定月給制を選択できるなど、安定して働き続けられる環境が整った。人

事・総務課係長代理の奥田真知子さんは「利用者にとって最適な方法を考えた結果、スタッフの働きやすさにもつながった」と話す。

また、全管理職が女性である同社は、創業以来、仕事と家庭を両立し、活躍できる社風が根強い。職員一人ひとりが自立し、成長でき、その家族も豊かな生活を送れるよう働き続けられる環境がある。



常勤、パート関係なく専門職として成長を目指す。

ICT導入範囲をさらに拡大し、業務効率化を推進